

京都モデルフォレスト協会 平成 22 年度事業計画

＜平成 22 年度の重点方針＞

- 1 企業等が参加する森林づくりの活動が、地域住民や様々な団体と連携した取組に広がるとともに、さらに多くの企業等の参画が得られるよう、京都府や市町村と連携しながら積極的に活動を支援します。

→森林づくりの取組が府内26箇所28団体にまで拡大したことを踏まえ、モデルフォレスト運動に参画する企業、森林ボランティア団体や地域住民等が一同に集い情報交換を行うとともに、広く取組を府民に発信する森づくり交流フォーラムの開催など

- 2 緑の募金を通じてモデルフォレスト運動への幅広い府民の参加を促進するため、関係団体や協会会員企業、団体等と協力して、募金活動の充実を図り、森林整備、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実します。

→平成 22 年度緑の募金目標額：2,100 万円

都市部のオープンスペース等にまとまった植樹等を行い、街中で緑を身近に感じてもらうことで、森や緑の大切さを普及啓発する「まちなかの森づくり」の展開など

- 3 協会への入会の呼びかけや森林体験イベントなどの普及啓発活動を一層充実し、モデルフォレスト運動の輪を広げます。

→次代を担う子供たちに森の大切さを伝える森林体験活動や緑の少年団活動等の環境学習の取組の充実強化

1 企業、団体等の参加による森林づくりの推進

(1) 企業等の参加促進

- ・ 協会が地域の森林と府民や企業等をつなぐパイプ役となって、企業等に具体的な森林活動の場所等を提示して森林づくり活動への参加を呼びかけ、地域の関係団体や地元市町村、京都府等と連携して取組をサポートするとともに、企業等からの寄付金等による森林づくり基金を設置するなどして、府内各地で京都らしい多彩な森林づくりが展開されるよう、企業等の参加を促進します。
- ・ 企業等の参加する森林づくりの取組が26箇所28団体にまで拡大したことを踏まえ、モデルフォレスト運動に参画する企業、森林ボランティア団体や地域住民等が一同に集い情報交換を行うとともに、広く取組を府民に発信する森づくり交流フォーラムを開催し、取組の一層の促進を図ります。

(2) 森林づくり基金による地域の森林づくりの取組支援

企業等からの寄付金をもとに、地域の森林づくりの計画に基づき活動を行う森林づくり実行組織等に対して、森林づくり基金運営委員会で協議の上助成金を交付します。助成金は、森林整備や作業道開設、案内板等の設置のほか、環境教育事業の展開、森林ボランティア活動等の実施等に係る経費に使用するとともに、地域の森林づくりの取組を広くPRし、更に取組の輪を広げます。

2 京都モデルフォレスト運動推進のための普及啓発

森林の果たす様々な役割についての理解と森林づくり活動への参加の促進を図るため、普及啓発事業を積極的に展開するとともに、府民に向けた情報発信に努めます。また、これらの事業等を通じて会員の拡大に努めます。

(1) 森林づくり普及啓発

ア 森林整備体験教室等の開催

地域での取組との連携を図りながら、間伐等の森林整備体験教室等を継続的に開催します。

イ 森づくりを通じた子供達への環境教育、中高年の生涯学習の推進

子供達に森の大切さを伝える森林体験教室、樹木観察教室の開催、緑化木を守り育てる「緑のカーテン」の取組、緑の少年団の交流会開催、京都SKYセンターと連携した森づくり体験活動の取組を推進し、子供達への環境教育や中高年の生涯学習の推進を図ります。

ウ 森林ボランティアの活動促進

- ・ 京都府と連携して、森林ボランティアリーダー養成講座、森林ボランティア作業安

全講習会等を開催し、森林ボランティアを育成します。

- ・ 森林ボランティア団体をネットワーク化し、活動の促進を図るため、京都府と連携した森林ボランティア団体の交流会開催や、広報媒体により団体の情報交換、情報発信を促進します。
- ・ 学生の参加も得て取り組む「大学の森」づくりに向けて大学等との連携を進めます。
- ・ (社)国土緑化推進機構から委託を受け、森林ボランティア活動等の支援事業の募集事務等を行います。

エ 森の人材バンクの活用

- ・ 森林インストラクター等の資格者等を登録する森の人材バンクを活用し、森林ボランティア団体や企業等の希望に応じて指導者を紹介・斡旋します。
- ・ 企業、団体等の要望に応じて、森林づくりへの理解を深めるための出前環境学習講座を実施します。

(2) 情報発信・PR

ア 府民参加の拡大

- ・ 広報誌、ホームページ、メールマガジン、啓発リーフレット等により独自に取組をPRするとともに、マスコミ等に情報を提供しながら、参加企業等の協力を得て取組をPRします。
- ・ 環境団体等と連携を図りながら啓発イベント等に出展するなどして、幅広く府民に情報を発信します。(環境フェスティバル・農林水産フェスティバルへの出展等)
- ・ 緑に親しみ森林への理解を深めていただくため、京都府と共催で「新緑祭 in 府民の森ひよし」を開催します。
- ・ 関係団体が共同して開催される「京の七夕(仮称)事業」において、放置竹林等の竹を活用するなどの環境にやさしい取組を、森林ボランティア団体、協会会員企業等と連携して実施します。
- ・ 府民向けのシンポジウムやセミナーを開催し、森林づくり活動への参加を促進します。
- ・ 府民が森林の恵みを実感し、森林の大切さについての理解を深めてもらうため、様々なテーマを設定して森林を巡るツアーを実施します。
- ・ (社)国土緑化推進機構の緑と水の森林基金の運用益を活用し、関係団体と連携して木材需要の拡大や森林整備等の重要性の普及啓発に取り組みます。

イ 企業等による活動のPR、参加の拡大

- ・ 昨年 12 月に開催した「日本の森を守る京都サミット」の成果を踏まえ、日本の森を守る地方銀行有志の会と連携して、森づくり活動の普及啓発に取り組みます。
- ・ 企業参加の森づくり活動の取組事例等を紹介する森づくりセミナー等を開催します。
- ・ 森林づくりへの貢献の大きい企業等の表彰や優良事例を積極的にPRします。

ウ 森林吸収量の認証

- ・ 森林吸収量の認証機関として、企業等の森林ボランティア活動や森林づくりへの寄付等の取組を森林吸収量の認証等により評価しPRするとともに、認証制度を活用し、森林整備による森林吸収量で企業活動等による CO2 排出量をオフセットするカーボンオフセットの取組を支援します。

エ 木を使う運動の展開

- ・ 木づかい運動等と連携して、木製品や燃料として木を使うことで森林を守り育てる運動を展開します。
- ・ 協会会員企業等と連携して、事業所内の内装、備品等に府内産木材を使うモデル的取組を推進します。

オ 国際モデルフォレストネットワークとの連携

- ・ 平成 20 年 3 月に加入した国際モデルフォレストネットワークを通じ、京都から世界に情報を発信します。
- ・ 国際モデルフォレストネットワーク事務局やカナダ・ケベック州モデルフォレストの取組等と連携し、人や情報の国際交流を通じて京都モデルフォレスト運動の充実強化を図ります。

3 緑の募金の推進

募金活動を通じて緑資源の大切さ、重要性等を啓発するとともに、緑豊かな森林づくりの取組への支援等を一層推進します。

(1) 緑の募金活動

- ・ 協会会員企業、団体等や市町村との連携を強化し、緑の募金活動支援団体の協力を得て募金活動を一層推進し、募金額の拡充を図ります。
- ・ 間伐材を活用した募金グッズや、緑の羽根、緑のバッジ等により、緑の募金への協力を呼びかけます。
- ・ 緑化運動ポスター、育樹運動ポスター等の配布、募金啓発チラシやリーフレットの配布を行い、緑化思想の普及啓発に努めます。
- ・ イベントへの出展や関係団体と連携した街頭啓発活動で、緑の募金の普及啓発に努めます。

	募金実施期間	募金目標額	21年度実績額
春期	平成 22 年 3 月 1 日から 5 月 31 日	16,500 千円	15,714 千円
秋期	平成 22 年 9 月 1 日から 10 月 31 日	4,500 千円	4,016 千円
計		21,000 千円	19,730 千円

(2) 緑の募金による事業

① 森林整備

- ・ ボーイスカウトやガールスカウト等が行う森林活動に対し、資材の購入等に必要な経費について助成します。
- ・ 府民参加で森林づくりを推進するため、森林ボランティア団体等による府民参加型の森林整備等に助成します。

② 緑化推進

ア まちなかの森づくり

- ・ 都市部のオープンスペース等にまとまった植樹等を行い、地域の環境改善や防災に役立てるとともに、街中で緑を身近に感じてもらうことで、森や緑の大切さを普及啓発するため、樹木の植栽等に係る経費を助成し、緑空間の創出を図ります。

イ 地域緑化

- ・ 府内の老人クラブに緑化樹の養成を委託し、高齢者の社会参加意識の高揚を図るとともに、地域の緑化を推進するため、養成された苗木や緑化センターより購入した桜苗木を公共施設等へ無償配布します。

ウ 学校緑化

- ・ 教育環境の整備と子供達の緑を愛し育てる心を育むため、府内の小・中学校に対して、児童・生徒等による緑化木の植樹や花壇の手入れ等に要する経費を助成します。

エ 緑の少年団等の育成

- ・ 新規に結成する緑の少年団を支援するため、新規結成に係る経費と初年度の活動に係る経費を助成します。
- ・ 緑の少年団活動を推進するため、緑の少年団全国大会（青森県、7/28～30）や緑の少年団活動発表大会（群馬県、10/2、第 34 回全国育樹祭併催行事）に代表団を派遣します。

オ 緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール

- ・ 青少年に緑の大切さ等を伝えるため、京都府と共催で府内の小・中・高等学校の生徒を対象に緑化運動及び愛鳥週間ポスターを募集して、優秀作品の表彰及び展示を行い、緑化運動・愛鳥週間ポスターを活用した緑化・愛鳥思想の普及啓発に努めます。

③ 地域での取組支援（緑の募金交付金）

地域の緑の募金協力団体が、それぞれの地域で森林整備や植樹等を通じて緑化思想の普及啓発を図るための経費として、緑の募金の実績から緑の募金活動のために要する資材費を差し引いた金額の 75% を交付金として、また、(社)国土緑化推進機構に対し、緑の募金法施行規則第 6 条に基づき中央交付金を交付します。